

ノート

東京スカイツリー観光グッズの開発

平山 明浩*¹⁾ 加藤 貴司*¹⁾ 堀江 暁*¹⁾ ギニス ミハイル*²⁾ 青山 裕子*²⁾

Product development of Tokyo sky tree sightseeing goods

Akihiro Hirayama*¹⁾, Takashi Kato*¹⁾, Akira Horie*¹⁾, Gkinis Michail*²⁾, Aoyama Yuko*²⁾

キーワード：東京スカイツリー，ピッキーズドゥ

Keywords：Tokyo sky tree, Picky's du

1. はじめに

2012年東京スカイツリー(以下TST)が開業する。TSTは、東京の新名所となり、観光事業の発展も予想される。そこで、TST観光グッズをターゲットとし、平成21年度は墨田区とTSTをモチーフにデザイン開発を行い、平成22年度は、新たにパスケース等を考慮したデザイン開発を行った。また、新しいブランド「ピッキーズドゥ」(商標登録)を共同研究で立ち上げ事業化支援を行った。

2. 内容

TST 観光グッズの製品化のために、ブランド戦略による製品開発の計画を立てた。ここで重要なポイントはブランドの創作と製品群の開発方向である。また、TST 関連の観光グッズとして、意匠等を承認する TST ライセンス事務局への申請など製品の販路を見据えた製品開発を行った。

2.1 ブランドの製品開発 本研究におけるブランドの製品開発の流れを次に示す。(1) 市場調査(新宿、渋谷、原宿、上海、パリの現地調査)(2) TST 観光グッズのコンセプト設定(3) ブランド名をピッキーズドゥに決定(4) 商標登録役務区分第14類、第18類、第25類認定(5) ロゴグラフィックデザイン(図1)



図1. ロゴデザイン

(6) 企画 平成21年度(ニットベスト、ニットネクタイ、プリントバック、キーホルダー、鍋つかみ) 平成22年度(レンチキュラーパス2点、ニットパス2点、刺繍Tシャツ、超音波溶着ティッシュ入れ) (7) 型紙作成による設計 (8) 試作 (9) 製品化 (10) TST ライセンス事務局認定商品として評価、ファッション雑誌 Numero Tokyo に掲載 (11) 販売 WEB ショップ開設、第一ホテル両国で販売。

*¹⁾ 墨田支所*²⁾ 株式会社ミハイル

2.2 レンチキュラーによるパスケースの製品開発 両眼視差(両目の網膜に映る像の違い)でデザインに変化をもたらすレンチキュラーにより、パスケースのデザインを行った。

(1) **パスケースの市場調査** 市販のパスケースに関して、都内百貨店3店舗、専門店10店舗、量販店2店舗の調査を行った。その結果、市販品パスケースの素材は、皮革やナイロン素材の使用が多く、装飾用レンチキュラー使用のパスケースは0件であった。

(2) **デザインの検討** 市販売れ筋のパスケースのサイズを調査し、色、柄、素材、縫製仕様の検討を行い、新デザインの設計⁽¹⁾に反映した。この調査結果から開発パスケースの素材として、ポリエステル100%副資材ボンテックスを選定し、TSTのある四季の図柄を主テーマとした。

本研究では、平面での重なりにより変化させるデザイン手法であるレイヤーデプス(図2)を使い、TSTの四季を桜、花火、紅葉、雪で表現し(図3)、2つの画像を重ねて埋め込むデザインを行った。

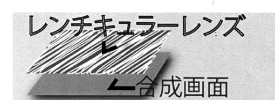


図2. レイヤーデプス

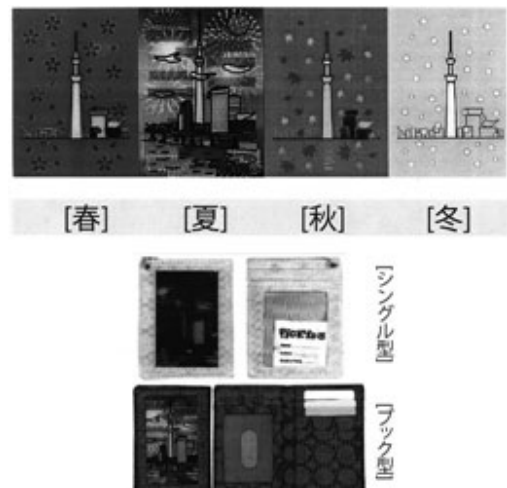


図3. レンチキュラーによるパスケースのデザイン

2.3 ニットパスペースの開発 ブランドイメージを伝えるためには、商品開発したすべてのデザインに統一感が必要である。そこで、ニットネクタイ開発時の糸(417dtex, ウール 100%)をニットパスにも使用した。開発ポイントは、デザイン、イメージマッチングを重視した生地選定、編成組織、柄デザイン位置、副資材等の最適縫製条件を検討し、製品化を行った(図4)。



図4. ブランドイメージ製品

2.4 Tシャツの刺繍加工のデザイン開発

(1) ブランド化を図るために、以下の条件でTシャツに刺繍加工とデザイン開発を行った。刺繍糸(67dtex, レーヨン 100%), シークイン直径3mm (図5)。

(2) 刺繍ミシン針, 釜, 糸のテンション調整, 布押え, 縫い目跳とび, 機器調整の検討を行った。

①レーヨン糸の織度67dtex

糸のテンション値110g~130g

②ポリエステル糸の織度60dtex

糸のテンション値100g~110g

(3) 刺繍糸等の糸道を考慮して刺繍加工のデザインを行った。また、デザインは子供らしさを強調した(図6)。

刺繍糸の選定

シークインの選定



図5. 刺繍資材 図6. 刺繍加工によるTシャツデザイン

2.5 超音波溶着によるティッシュ入れデザイン開発 新製品開発のために、以下の条件でポケットティッシュ入れの超音波溶着手法によるデザイン開発を行った。

(1) 溶着手法のデザイン 柄表現等に100%溶着だけで製品化を行った。ナイロン素材を使用し、ローラの柄(図7)に応じた溶着により、TSTのシルエットを作成してデザイン開発を行った(図8)。

(2) 次の条件で溶着試験を行った(表1)。

表1. 超音波溶着試験条件

内容	複合織物溶着(透湿三層素材)ナイロン
100%使用機種	PUS-1150WA
加圧設定	0.2Mpa
速度設定目	2(約5m/min)
ローラ	筋目16山, 1.5mm幅, 綾目20山, 1.0mm幅
ローラ歯山	10.0mm幅
下死点調整	0.1mm, 0.15mm

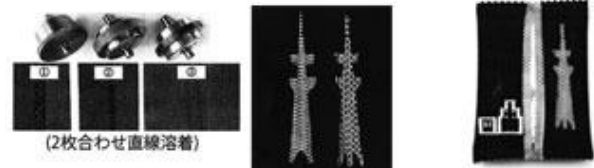


図7. ローラ形状 図8. 溶着加工によるデザイン 図9. 製品

2.6 新ブランドピッキーズドウの確立 開発した商品群を以下に示した(図10)。



図10. 開発した商品群

上段右側からニットベスト, ニットタイ, プリントバッグ, キーホルダー, 鍋つかみ(平成21年度開発品)
下段右側からレンチキュラーパス, 刺繍Tシャツ, 超音波溶融ティッシュ入れ(平成22年度開発品)

3. 結言

TST 観光グッズの開発を目指し売れるブランドの確立を行った(ピッキーズドウ)。

商標登録, 東京スカイツリーライセンス事務局公式認定商品の開発, WEB ショップ開店, ファッション雑誌掲載, 産業交流展出品, 東京フォーラム出品, 第一ホテル両国にて販売。(図11)など製品開発からブランド製品の販路拡大に至るまで、一貫したTST観光グッズ開発の支援が行えた。

(平成23年5月23日受付, 平成23年8月10日再受付)



図11. 販売状況

文 献

(1) 野谷久仁子; 手縫いで作る革の品々, NHK出版, (2008)